

生存科学研究ニュース

VOL. 10. NO. 4

1995. 7. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 03-3563-3518

平成7年度第1回理事会ならびに評議員会

平成7年5月26日（金）午後2時より、生存科学研究所会議室において平成7年度第1回理事会ならびに評議員会が開催された。

まず平成6年度事業報告と収支決算が理事会・評議員会合同で説明され、次いで評議員会で審議のうえ承認され、引き続き理事会で審議のうえ承認された。

事業報告では、平成6年度には、前年度より更に悪化した資金情勢の下で、可能な限り管理費の削減を行ったうえ、数年来の研究継続と基本的研究の中の必要最低限のものを実施し、あくまで初志を貫徹した旨が全般の状況として報告された。個々には日頃本ニュースで報告している諸研究の他、バイオサナトロジー研究会、川崎病研究会、会員研究会の活動などが報告され、そして、何が基本かについて活発な意見も提示された。

収支決算では、管理費の削減努力と多くの会員からの多額の緊急ご寄付により期末には無事決算を終えることができたが、本年3月の事業計画立案時の情勢より更に悪化した極

端な景気変動下の低金利による資金情勢の下で、極めて困難な財政状況が続いていることが報告された。

その後理事会・評議員会が部屋を別にして、前年度改正された新しい寄附行為に従い、それぞれ評議員会で任期満了（6月）に伴う新理事・監事を、同じく理事会で評議員を選出した。（選出された方々は3～4ページに掲載）

平成7年度第2回理事会

6月20日（火）午後3時より研究所会議室において平成7年度第2回理事会が開催され、まず、評議員の補充選出が行われたのち、前回理事会の討議をふまえて、財団の設立目的の再確認、それを達成するための組織づくりとして、基本構想委員会のあり方を次回の理事会までに板垣理事に取りまとめを依頼し、その上で役付役員の互選を行うことに決まった。

協議においては、社会的混乱の度が高まり、生存科学の必要性が明確になってきた

今、生存科学研究所はその主張を明確に打ち出して社会の要求や会員の期待に応える努力をする必要があり、それが新しい会員を増やし、より多くの若々しい力を研究に結集し、財団の財政基盤の確保にもつながるという意見や、そのための具体的な色々な方策が理事全員から活発に提出された。

公益信託武見記念生存科学研究基金
平成7年度第1回運営委員会

6月12日（月）午後2時より研究所会議室において公益信託武見記念生存科学研究基金平成7年度第1回運営委員会が開催され、平成6年度事業報告、収支決算が報告され、協議のうえ承認された。

引き続き平成7年度「武見賞」の推薦・選考方法について種々協議され、前回に引き続き、生存科学とその関連分野において顕著な業績をあげられた研究者または実践者に対して「武見記念賞」を、同じく創造的な研究や献身的な活動を行っている方に対して「生存科学武見奨励賞」を贈呈すること、受賞者は両賞合わせて2名以内とすること、基金、財団関係者から受賞候補者の推薦を頂くこと、その期間は7月1日から8月31日までとすること等が決定された。

「生と死そして超越のための
ワークショップ」についてのお知らせ

「生と死そして超越（LDT）のためのワークショップ」日本支部は、すでに10回に及ぶ開催実績を持っていますが、今回特に阪神大震災の被災者の方々のために緊急な必要を察知して第11回のワークショップを早急に開催することとなりました。開催はLDTワークショップ実行委員会ではありますが、このような事情でありますのでバイオサナトロジー学会と生存科学研究所の共催となります。

会員の皆様にご紹介し援助のお願いのお手紙を同封することになりました。阪神大震災被災者以外の方でも苦悩をお持ちの方は参加申し込みができますので、その旨も合わせて、お知り合いの方、お心あたりの方々にもご披露ください。

研究所日報

- | | |
|----------|------------------|
| 5月18日（木） | 常務理事会 |
| 6月12日（月） | 21世紀の産業活動のあり方研究会 |
| 6月13日（火） | 常務理事打ち合わせ会 |

〔新役員名簿〕

(敬称略。アイウエオ順。なお、評議員名簿は
第2回理事会で補充選出された方を含む)

理事	青木 清	上智大学理工学部教授
	板垣 與一	一橋大学名誉教授、前八千代国際大学学長
	今隈 満	肝属郡医師会立病院院長
	梅園 忠	安房医師会会長、梅園内科医院院長
	卜部 文磨	うらべ医院院長、元兵庫県医師会理事
	江見 康一	帝京大学経済学部教授、帝京大学経済研究所所長
	粕谷 豊	東京大学名誉教授、前星薬科大学学長
	吉川 暉	大分県医師会会長
	小平 敦	元三井信託銀行顧問
	佐藤 安武	(株)ダイチ取締役会長、元三井物産(株)先端技術部長
	鈴木 雪夫	多摩大学経営情報学部教授、東京大学名誉教授
	高木 文雄	高木文雄法律事務所、元大蔵事務次官
	田村 貞雄	早稲田大学社会科学部教授
	筑井 甚吉	亜細亜大学経済学部教授、大阪大学名誉教授
	津谷 喜一郎	東京医科歯科大学難治疾患研究所情報医学研究部門助教授
	土屋 健三郎	慶応義塾大学名誉教授、前産業医科大学学長
	豊川 裕之	東邦大学医学部教授
	中尾 喜久	自治医科大学学長、東京大学名誉教授
	中野 徹雄	協和醗酵工業(株)相談役
	中山 昌作	中山内科医院院長、元日本医師会常任理事
	西岡 久壽彌	日本赤十字社血液事業技術顧問
	藤野 志朗	中央大学経済学部教授
	不破 敬一郎	東京大学名誉教授、元国立公害研究所所長
	師岡 孝次	東海大学工学部教授
	山口 正民	山口内科医院院長、元大阪府医師会会長
監事	大内 幸夫	経済評論家、元NHK解説委員
	小川 春男	亜細亜大学国際関係学部教授

評議員

石井 威望	慶応義塾大学環境情報学部教授、東京大学名誉教授
伊藤 正男	理化学研究所国際フロンティア研究システムシステム長
梅田 幸雄	(株)協和企画会長
江橋 節郎	東京大学名誉教授、前岡崎国立共同研究機構長
太田 幹二	科研製薬(株)取締役相談役
岡本 道雄	(財)国際高等研究所理事長
奥野 正孝	自治医科大学地域医床学助教授
小田 稔	(財)国際高等研究所所長、東京大学名誉教授
香川 保一	弁護士、元最高裁判所判事
加藤 邦夫	仙台市立看護専門学校長
木崎 馨山	那谷寺住職
小島 静二	小島歯科クリニック院長
小林 登	国立小児病院院長、東京大学名誉教授
斉木 崇人	神戸芸術工科大学芸術工学部教授
清水 博	金沢工業大学教授、場の研究所所長
高桑 栄松	参議院議員
高瀬 淨	八千代国際大学学長
中村 元	(財)東方研究会理事長、東京大学名誉教授
野口 照久	山之内製薬(株)副社長
野村 達次	(財)実験動物中央研究所所長・専務理事
土方 正夫	早稲田大学社会科学部教授
藤原 成一	日本大学芸術学部教授
松本 洋	(財)国際文化会館専務理事
丸井 英二	東京大学留学生センター教授
三浦 朱門	作家、元文化庁長官
向山 定孝	三井業際研究所顧問
村上 陽一郎	国際基督教大学教授
山田 裕久	武田薬品工業(株)常勤顧問
弓倉 藤楠	弓倉医院院長、開放型病院研究所所長